

製品名: CDK2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21498**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:1000-1:4000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:34kD;Observed MW:34kD

抗原情報

遺伝子名	CDK2
別名	CDK2;CDKN2;Cyclin-dependent kinase 2;Cell division protein kinase 2;p33 protein kinase
遺伝子 ID	1017.0
SwissProt ID	P24941
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

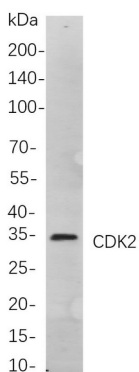
細胞局在: 細胞質。サイクリン依存性キナーゼ 2 (CDK2) ヒト この遺伝子は、細胞周期制御に関与するセリン / スレオニンプロテ

ンキナーゼファミリーの一員をコードする。コードされているタンパク質は、サイクリン依存性プロテインキナーゼ複合体の触媒サブユニットであり、細胞周期の進行を制御する。このタンパク質の活性は、G1期からS期への移行期において特に重要である。このタンパク質は、サイクリンAまたはE、CDK阻害剤p21Cip1 (CDKN1A)、p27Kip1 (CDKN1B) など、複合体の他のサブユニットと会合し、制御を受ける。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq提供、2014年3月]

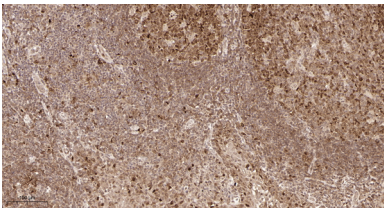
研究分野

-

画像データ



CDK2 ウサギ mAb を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト扁桃組織の免疫組織化学分析。1、CDK2 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。